



知ってみよう！
生協のヒミツ

7月30日は「生協の日」！

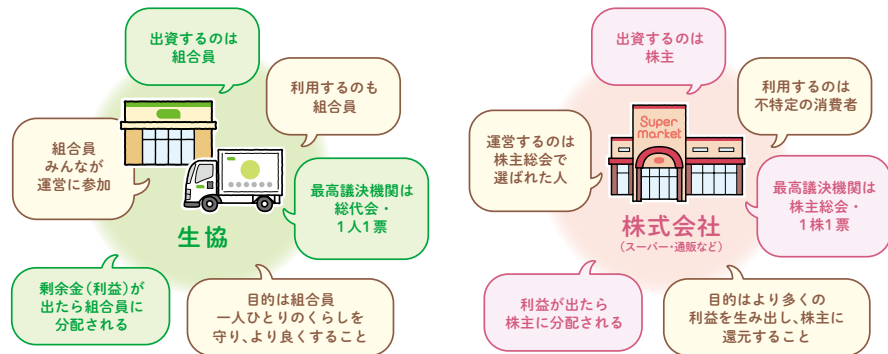
私たちが利用している「生協（コープ）」。
今回は、生協の成り立ちや仕

スーパーや株式会社と、どんなところが違うかご存じですか？
組みから、「私たちが主役！」な生協の姿に迫ります。

ここがフシギ！

生協と株式会社、何が違うの？

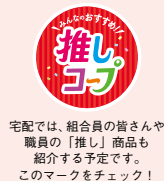
食品や日用品を購入するだけなら、スーパーマーケットやインターネット通販などでもできます。生協が企業（株式会社）と大きく異なるのは、**事業の元手となるお金を出す（出資する）人**が、**商品やサービスを利用していること**。そして、**組合員一人ひとりの願いをかなえることが目的**で、**組合員が平等に意見を言う権利があること**。株式会社はより多くの利益を生み出して株主に還元することが目的で、たくさんの株を所有する大株主の意見が経営に影響を与えることがあります。



7月30日は「生協の日」！

生協は「消費生活協同組合法（生協法）」という法律で定められていて、コープデリグループのような宅配やお店を展開する「地域生協」や、医療・福祉事業を担う「医療生協」、大学の学生や教職員のための「大学生協」などがあります。全国の生協数は500以上、組合員は3000万人以上！* 生協は、私たちの暮らしにとって身近な存在でもあります。

こうした生協の事業や活動をもっと知っていただくため、**7月30日が「消費生活協同組合の日（生協の日）」として記念日登録されました**。これは生協法が公布された1948年7月30日にちなんだもの。生協の日に向けて、宅配やお店ではお買い得な商品をご案内するキャンペーンを実施します。ぜひチェックしてみてください！



※2024年度末、日本生活協同組合連合会調べ

知ってた？

生協の歴史は180年以上！イギリスが起源

世界で最初の生協は、19世紀のイギリスで誕生しました。産業革命が始まって生産が飛躍的に増えた一方、工場で働く人々は低賃金・長時間労働を強いられていました。また商店でもパンなどに混ぜ物が入っていたり、量目がごまかされたりと、苦しい生活をしていました。そんな生活に耐えかねた人々が、お金を出し合って自分たちのためのお店をオープンしたのが、生協の始まりです。

日本では、第二次世界大戦後の物価高や食品の安全性に不安が高まる中で、「手頃な価格で商品を手に入れたい」「安全なものを安心して食べたい」と願う人々が、全国各地で生協を設立しました。こうした成り立ちから、生協は**組合員同士がみんなの願いをかなえる組織**となったのです。私たちが自身がお金（**出資金**）を出し合って組合員となり、商品やサービスを利用し、意見を出し合って**運営**の方向性を決める、「私たちが主役」の組織と言えます。

出資金は、みんなの願いをかたちにするために
持ち寄る大切なお金。商品づくりや宅配・
お店の事業などの元手として活用します。



世界が認める！

生協は、SDGs 達成への重要な存在

協同組合の取り組みは、SDGsにつながっている



「もったいないから、牛乳パックはリサイクルしてほしい」「困っている人を支援したい」といった組合員の声から、生協はリサイクル活動やフードドライブの推進など、持続可能な社会づくりに取り組んできました。人と人とのつながりを大切にしながら、より良い社会を目指す生協の活動は、**SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会と同じもの**。生協（協同組合）は、SDGsの目標達成に向けた重要なステークホルダー（関係者）の一つとして位置づけられています。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標17：

パートナーシップで目標を達成しよう
につながっています。

